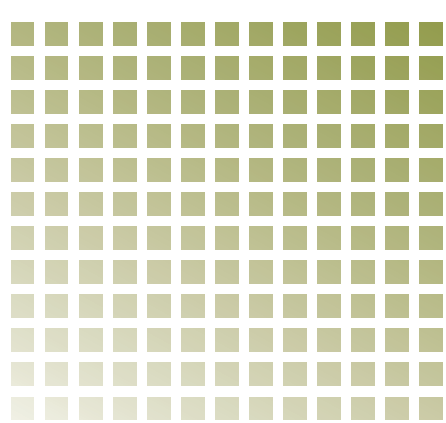


議会だより おかがき

No.87 12月定例会 平成24年1月25日発行



吉木小校舎耐震補強・トイレ改修など ● 3
町政を問う ● 6～9
一般質問

あけまして おめでとろございます



市津 広海

西 美千代

西田 陽子

太田 強

神崎 宣昭

曾宮 良壽

中村 好伸

横山 貴子

下川路 勲

平山 弘

広渡 輝男

安部 弘彦

小野 元次



岡垣町議会議長
曾宮 良壽

めでたさも
中くらいなり
おらが春

一茶

新しい年を迎えて、町民のみなさんのめでたさも一茶の句のようにそれぞれでありましょう。

万民の習いとして、一日違いで旧年をリセットして、気持ち新たに新しい年に臨もうとするそのことは、一つのけじめとして大きな意味を持つているものでしょう。

「町」とっては、仕事納めがあつて、仕事始めが勤務のなかではありますが、「町」が休みなく動いている中では、リセットもなければ片時の休みもなく、昨日と今日の日付の違いにしか過ぎません。

昨年3月11日の「東日本大震災」を我が事としてとらえて来た我々日本人は、この正月を、この一年重い荷を力を合わせて背負っていかなければならぬと、覚悟を胸に秘めて、「明けましておめでとろございます」と言い合うのでしよう。

リセット出来ない3月11日だけでなく、日付に関わりなく常に課題を抱え続けて越年をするのが常と心得れば、めでたさもそれなりのものであるに違いなく、我が岡垣町が、今年50歳を迎えることと合わせて、無事に新年を迎えられたことを素直に祝いたいと思います。

これも、町民の皆さんの、町政への関心のお陰あつてのことと感謝申し上げ、議会も町民の皆さんとともにまちづくりに邁進することをお約束し年頭の挨拶といたします。



吉木小校舎耐震補強・トイレ改修など

2億1441万円の補正予算

12月議会は12月7日から16日までの会期で開かれ、5議案・請願2件・発議3件について審議しました。

本議会で提出された主な議案は

- ① 議員・その他非常勤職員の公務災害に関する条例改正
 - ② 岡垣町乳幼児医療費の支給に関する条例改正
 - ③ 岡垣町重度障害者医療費の支給に関する条例改正
 - ④ 平成23年度岡垣町一般会計補正予算(第3号)
 - ⑤ 平成23年度岡垣町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- (採決の結果は5Pをご覧ください。)

※岡垣町職員の給与条例の改正

(11月29日臨時議会可決)

●補正予算の主な使いみち

・サンリーアイ大規模改修工事	3,580万円
・民間保育所施設整備事業(おとぎのいえ)	4,076万円
・排水施設管理事業(東黒山)	420万円
・吉木小学校耐震・トイレ改修工事	1億691万円
・波津地内法面復旧工事	502万円

- 農林漁業軽油引取税の免除等を求める意見書 (可決)
- 「子ども・子育て新システム」に関する請願 (継続審査)
- 健全な国民健康保険制度の構築を求める意見書 (可決)
- 原子力発電依存を改め、計画的な再生可能エネルギーへの転換を求める意見書 (可決)

岡垣町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

24年4月からスタート
中学3年までの入院医療費が無料化
総額860万円の見込み

賛成

西田 陽子 議員

子ども医療費の入院が中学3年までを無料にするもので、保護者にとっては、経済状況の厳しい中、朗報だ。

ただ、県下60市町村の中、京築は通院も無料だ。また、小学3年まで入院無料が、飯塚、行橋、福津、嘉麻、桂川、中間、水巻だ。水巻は年間3千万円前後の負担をしている。自治体の財政状況は異なるが、保護者の負担軽減をはじめ、子育て支援に力を入れて取り組むことが、将来のまちづくりに影響する。

子育て環境が大きく様変わりする中、不安や悩みに、柔軟に対応し更なる子育て環境整備に取り組んでほしい。

他に平山議員が賛成討論

岡垣町一般会計補正予算

賛成

西 美千代 議員

民間保育所施設整備事業費補助金により、全体の保育所の受け入れ人数が拡大され、特に現在の0～1歳児の待機児童の解消につながる。

障害者福祉費補助金のオストメイト対応トイレ設備緊急整備事業費補助金でサンリィアイといこいの里の2か所に設置予定。がんや事故などにより、腹部などに排せつのために人工肛門を取りつけざるを得なくなった方たちが、気軽に外出ができるようになる。

吉木小学校トイレ改修工事については、においの解消や洋式トイレの数が増えるなど、長年の懸案事項であった問題が解決に向かうと思われる。

他に西田議員、平山議員が賛成討論

平山 基地の滑走路の延長は基地の強化ではないか

町長 今後の方向性は白紙の状態と聞いている



平山 弘 議員

平山 芦屋基地の滑走路を、海側に193m延長する環境アセスが報告されています。なぜ延長するのですか。

町長 航空機の離着陸時ににおける安全性の向上と、救難捜索隊による搜索範囲の拡大と説明を受けました。今後のスケジュールや方向性については、白紙状態と説明を受けています。

平山 しかし、沖縄の辺野古ではアセスの提出が工事の前提になっているわけですか。

在沖繩米軍の訓練の本土移転が浮上した際、その対象の一つに芦屋基地が上げられました。戦闘機や輸送機などが利用できる基地の強化になる

のではないですか。

町長 芦屋基地の役割はパイロットの育成、練習など、教育機関としての機能と救難捜索隊による救難活動です。

私の見解ですが、延長しても1,833mの滑走路で、マツハ2を超える戦闘機の離着陸は不可能で、可能性は全くないとした考えられます。

平山 防風・防潮の松など樹木が9100本も伐採されますが、暮らして産業に被害を及ぼすことになりませんか。

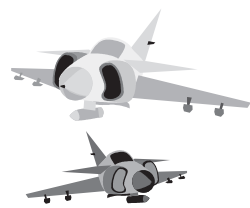
町長 松は塩害を防ぐ機能があるので、海岸と松は切り離せません。

平山 滑走路の海側の延長方向には、遠賀・宗像自転車道があります。今でも頭上を超低空で離着陸しています。

延長すれば、一層危険性が増すのではないですか。

町長 海岸側に滑走路が延長

されると危険が増すということとは否定できません。滑走路の延長となれば、松の保全管理や自転車道の安全対策等について、事前協議していきます。



西 安心して子育てができるまちに

町長 待機児童解消に向けて取り組みたい



西 美千代 議員

西 岡垣町の一世帯の人数は2.5人で、核家族が増えてきている現状では、保育所に預けなければ安心して働くことはできません。保育所の待機児童の現状と対策についてお聞かせ下さい。

町長 現在0歳児1名、1歳児1名が待機児童となっております。待機児童解消の新たな取り組みとして、今年4月から届出保育所を利用する保

護者に対し、保育料の一部補助を開始しました。また、今議会でも26人の定員増を図るために、民間保育所の増築に対し、補助金を出す補正予算を提出しています。

西 東部保育所の民間移譲の進捗状況をお聞かせ下さい。

町長 平成27年度までに移譲することとし、その実施時期はできる限り前倒しすることとしています。現在、先進地事例の検証や課題・問題点の検討を行っています。

西 ここ数年の経済不況の中、子どもを預けて働かざるを得ない状況や、仕事に生きがいを持ち、出産後も職場復

帰を望む女性が沢山います。町として、働きたい人が働ける環境を是非つくって頂きたい。

○認知症への正しい理解を

西 岡垣町の高齢化率は26%、行政区によつては2人に1人が高齢者という区もあります。そんな中、認知症についての正しい理解を進めるためにあらゆる場面で「認知症サポーター養成講座」の開催を検討して頂きたい。

町長 岡垣町では11月に初めて講座を開催し、53人のサポーターが誕生しました。今後も認知症の正しい知識や認知症高齢者に対して適切な対応が図れるよう、出前講座などを活用し、啓発に努めていきます。



元気よくヨイショ！

広渡

食料自給率の確保と農業・漁業・林業の振興は

町長

農業・漁業を重点プロジェクトとして推進する



広渡 輝男 議員

広渡 岡垣町の基幹産業の農業や漁業・林業は、所得の低下や高齢化、後継者不足から、食料自給率の確保や、自然環境の崩壊などが危惧されています。主要な第1次産業の振興策をお尋ねします。

町長 農業、漁業振興策を重点プロジェクトとし施策を展開していきます。

広渡 持続可能な力強い農業を実現するには、認定農業者拡大の支援策や青年新規就農者参入制度、耕作放棄地の集約化、集落営農組織の立ち上げ支援制度などが緊急な課題と思います。具体的な行動計画をお尋ねします。

町長 施策の展開方針は、担

い手の育成支援、地産地消の推進、安定した農業の生産基盤づくりを推進していきます。

広渡 農業の振興を促進するには、行政委員会である農業委員会の役割が大変重要で

す。農業委員会事務局体制の充実について町長の見解をお尋



波津漁港

ねします。

町長 農業委員会が果たす役割が法律改正後さらに重要になっており、そのような状況を見て検討します。

広渡 農業や漁業においても、収益性を高めるため収穫・漁獲・加工・販売などの6次産業化の推進が必要と思いますが町長にお尋ねします。

安部

安心・安全のまちづくりは

町長

計画的に対応実施する



安部 弘彦 議員

安部 6月議会後の事業進捗をお尋ねします。

① 情報システムの再構築によるサイバーテロ対策
② 校区コミュニティなどとの連携

③ 応援協定締結後の啓発
④ 省エネ事業の進捗

町長 6次産業化は、商品価値を高めることにつながり、生産量の増加、所得の向上につながることから、重要だと思っています。

広渡 6次産業化を推進するには、凍結されている「道の駅」が拠点になるのでは。

町長 「道の駅」の凍結を解除する考えはありません。

町長 ①今年度作業を進める総合行政システムの再構築は、外部のデータセンターを活用し、安定稼動と情報セキュリティの確保を重要課題として取り組みます。②東日本大震災を教訓に、防災講話や防災訓練への支援を継続的に実施しています。7月には福岡県や遠賀郡消防本部も参加し、地震・津波を想定した図上訓練を本町で実施しました。③大規模な災害が発生した場合に備え、毎年実施して

いる職員防災訓練に国土交通省の職員も参加してもらい、協定に基づく応援を迅速かつ確実に受ける事ができる様に努めます。④本庁舎照明のLED化は、来年度工事着手の計画です。LEDは寿命も長く維持管理費も削減できるため、他の公共施設も計画的に実施します。

安部 JR海老津駅南側開発事業と金比羅山麓公園化を推進してはと考えますが。

町長 「広報おかがき」10月25日号に掲載したとおり、平成27年度末迄に完成する計画です。金比羅山麓公園化も平成24年度の植樹祭を契機に、公園として整備する方向で検討します。

安部 中心市街地活性化事業進捗と今後の課題についてお尋ねします。

町長 平成24年度に「土地区画整理事業」実施に向けて、まちづくりコンセプトやビジョンなど、関係者へ十分な説明と協議をし、円滑に合意形成が得られる様に積極的に取り組みます。

西田

職員の倫理体制確立を

町長

職員倫理基準を24年に作ります



西田 陽子 議員

西田 住民から漁場監視の臨時職員勤務怠慢の通報が寄せられています。漁場監視の仕事内容は。

町長 海岸線のパトロール、不審者の発見と通報です。

西田 密漁対策としての目的は果たせたのですか。

町長 密漁者への抑止力にはなっています。今後は密漁が多い夜における対策について漁協と検討します。

西田 緊急雇用の目的は次の仕事へのつなぎではないのですか。

町長 雇止めや離職者を臨時職員として町の新規の仕事に期間限定で雇い、次の仕事につなぐのが目的です。

西田 臨時職員であっても、町長には採用責任があるので、はないのですか。

町長 臨時であろうと正規であろうと、職員の採用についての責任はすべて私にあります。

西田 再発防止のための処分基準の検討内容は。

町長 不祥事を未然に防止するため、職員倫理基準と処分基準を24年に作ります。

西田 漁業振興のために、まず地産地消の推進で、学校給



漁場を守る

食にもっと地元の水産物を取り入れることはできませんか。

教育長 今後も食材の価格、量の安定性などを考慮し、学校給食連絡協議会などで地場産物の導入を進めて行きます。

中村

元気な町の実現を!!

町長

信念を持って取り進む



中村 好伸 議員

西田 また、地元産の水産物の町民ニーズは高いので、流通システムづくりが必要です。

町長 1月をめどに立ち上げる漁協の部会と連携し、具体的なシステムづくりを検討します。

を目指していきます。

中村 中心市街地の活性化への取り組み方のイメージについてお尋ねします。

町長 土地区画整理事業による都市基盤の整備と土地の高度利用を図ることだと考えています。また、その過程において町と各団体および地域の皆様との緊密な連携が必要です。金比羅山があり、すぐ下にはホテルが舞い、駅の利便性と環境の良さを活かし、多くの人々が集まり多くの人が住めるような空間をつくりたいと思います。

中村 企業誘致についての考え方についてお尋ねします。

町長 地元の雇用拡大を図るため、調査・措置をし、自然環境に配慮した企業などの誘致を進めていきます。

中村 岡垣町の最上位計画である第5次総合計画の基本理念である「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元氣なまち 岡垣」を実現するためのまちづくりの臨むにあたっての町長の考え方についてお尋ねします。

町長 第5次総合計画では町全体を輝かせるとともに発展させ、良好な状態で次世代を

中村 担う子どもたちに繋いでいくとの想いで臨みます。また、人口フレームは政策的な人口誘導を進めることを前提に、3万5千人に設定しました。

中村 定住人口や交流人口の増加のためには、海老津白谷線の整備、駅南側広場の完成と並行して駅南側の開発および中心市街地の活性化も実現していかなければならないと考えます。

町長 第5次総合計画の前期基本計画期間の平成27年度内までに、駅南側宅地開発および海老津駅北側の中心市街地の活性化も含め一体的な実現



ステキな町にしてね!

小野 三里松原海岸全体の環境回復と保全に向けて

町長 自然美溢れる岡垣の貴重な財産を守る！



小野 元次 議員

芦屋町と連携していくため、対策協議会の設置を検討します。さらに両町民に海岸侵食の現状の周知を図るため連携した広報掲載も検討します。

小野 11月に開催されたシンポジウムで、荒れ果てた三里松原海岸侵食の原因と対策が報告されています。第5次総合計画の「豊かな自然を愛し、環境と共生するまちづくり」を進めるため、町民が一体となって「経験と英知を創出する協働のまちづくり」の観点から尋ねます。

①今後の調査研究の継続は。

②芦屋町との連携活動は。

町長 全体的に海岸侵食の傾向にあり、今後の対応策として、矢矧川河口の導流堤の延長や養浜を行い、効果検証や周辺への影響を継続的に調査します。また、三里松原海岸全体の環境回復と保全に向けて、

小野 遠賀郡の高齢化率は、25%を超え、高齢化社会を迎えますが、その対応策として、平成24年度から地域密着型の地域包括支援センターが、各町役場で開設されますが。

町長 遠賀郡では平成24年4月から、介護保険広域連合の地域での包括ケアシステムの構築に向けた中心的役割を果たす地域包括支援センターを各町に設置して運営を行います。

身近な町役場に設置されることにより、高齢者福祉の向上と高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して過ごすことが出来るよう地域包括支援センターの機能の充実に努めます。

町議会50年 ①村から町へ

岡垣が村から町になったのは昭和37年10月1日です。町制への移行に必須の議会議決がされたのは同年6月8日の臨時議会でのことでした。「当時の議事録」(永久保存)・「岡垣町史」を参考にしながら、50年前の村政・議会を振り返ってみました。

1 その背景

「岡垣町史」第三章「村から町へ」にまとめられているが、町制移行への一つのきっかけになったのは「合併」の破綻

である。

旧八幡市との合併論(昭和34年10月の議会で特別委員会設置)・遠賀郡2町2村が合併して「遠賀市」となる案などあるなかで、4町村の「遠賀郡町村議会都市合併研究委員会連絡協議会」が北九州5市との同時合併を志向しながら最終的に「現在、北九州5市においては合併に対する諸問題を積極的に研究がなされているが、隣接町村(遠賀郡・京都郡)との同時合併はさぶる困難な情勢である。よって今後5市合併に対する諸情勢の推移を見守りながら遠賀郡の合併の期を逸しないよう執行部と連絡協議会で検討し、合併促進に努力する」との結論を出したところから、将来の合併を容易にするための一段階として岡垣村に町制を施行することを主眼にしていたのである。

2 経過

昭和36年7月26日、廣渡松

雄議長名で、議会内に「町制施行特別委員会」を設置する議案が議会に提出され、可決承認された。

「町制施行特別委員会」では、県条例に定める町制施行要件・町制施行の意義等を協議検討のうえ、議決前に区長や各区の説明会等を経て、村民大多数の賛同を得たとの判断をもとに、昭和37年6月8日の村議会において全会一致で、議案46号「町制施行について」の件を可決した。

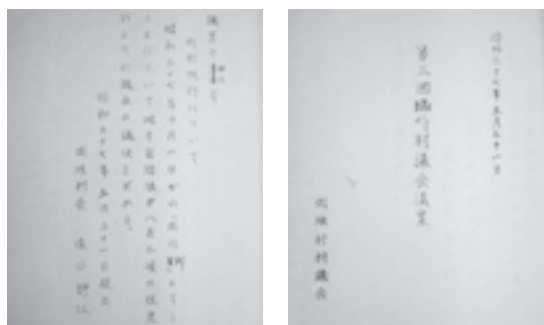
岡垣町制施行時

人口 15221人

(男7747 女7474)

世帯 2780世帯

(内農家戸数987戸)



当時の議案書



旧岡垣町役場庁舎(吉木)

委員会視察研修レポート

総務産業常任委員会

11月9日～11日

兵庫県赤穂市・加古川市、滋賀県長浜市

総務産業常任委員会では、「中心市街地の活性化」や「防災対策」について先進地の取り組みを調査研究し、まちづくりに反映するため、総務産業常任委員の6名で視察研修を行いました。



中心市街地活性化計画の「加里屋コミュニティモール構想」の調査（赤穂市）



旧跡に訪れる観光客を黒壁地域へ誘導する新中心市街地活性化計画の調査



総合防災訓練や防災組織の育成状況、災害情報の収集など防災計画の調査（加古川市）

文教厚生常任委員会

11月8日～10日

愛知県田原市・岩倉市、三重県菰野町

文教厚生常任委員会では「高齢者対策と成年後見制度」や「多世代交流における事業活動」について調査研究を行い、一層の福祉の増進を図るため、文教厚生常任委員の6名で視察研修を行いました。



田原市成年後見センター「社会福祉協議会」の取組状況を調査



菰野町社会福祉協議会の高齢者対策と成年後見制度の取組状況を調査



岩倉市「多世代交流センターさくら」の事業活動の調査

議会の動き

9月定例会終了後の議会の本会議・委員会・協議会等について紹介します。

日時	委員会等	議題
9月26日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
9月30日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月3日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月8日	住民懇談会	18:00西部公民館で実施
10月9日	住民懇談会	13:30中央公民館・18:30東部公民館で実施
10月17日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月18日	全員協議会	議会住民懇談会総括
10月19日	文教厚生	学校視察・閉会中の継続調査(成年後見人)
10月21日	研修会	郡議員研修会
10月25日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月31日	全員協議会	臨時職員勤務状況
10月31日	総務協議会	災害応援派遣職員現地報告
10月31日	議会広報協議会	議会だよりおかがきの編集方針
11月8~10日	文教厚生	視察(田原市・岩倉市・菰野町)
11月9~11日	総務産業	視察(赤穂市・加古川市・長浜市)
11月15日	文教厚生	学校訪問(終了後住民懇談会回答)
11月15日	総務協議会	住民懇談会回答
11月22日	研修会	町村議会広報研修
11月24日	議会運営	11/29臨時会・12月定例会
11月29日	臨時会	給与条例等改正
11月29日	総務産業	付託案件
11月29日	議運協議会	住民懇談会回答
12月7日	本会議	上程・議案付託
12月7日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
12月8日	一般質問	一般質問4人
12月9日	一般質問	一般質問3人
12月9日	文教厚生	学校訪問まとめ
12月12日	総務産業	付託議案
12月12日	文教厚生	付託議案
12月13日	全員協議会	外部評価・町制50周年他
12月14日	連合審査会	付託議案
12月14日	議会運営	発議について
12月16日	本会議	発議・採決
12月16日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
12月20日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
12月26日	総務産業	防災対策・産業振興

総務産業常任委員会



12月26日海老津中心市街地現地視察

文教厚生常任委員会



11月15日岡中・東中学校視察

議会住民懇談会のまとめ

前号の「議会だより おかがき No.86」でご報告したとおり、10月8日・9日の2日間で町内3公民館にて議会住民懇談会を開催しました。今回は、ご来場された多くの町民の皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望等に対する回答をご案内します。

岡垣町議会は、これからもますます、町民の皆様にはひらかれた議会を目指し努めてまいります。

文教厚生常任委員会所管

歴史資料館

「文化財の保存や展示施設の整備」については、先進地視察研修等で、歴史資料館などの見学をプログラムに取り入れ、展示場の在り方などの調査研究を行っていきます。

大原神社銀杏の木の保存

大原神社の銀杏樹は樹齢600年（推定）で、町指定天然記念物として保存されています。町教育委員会では、「樹木医と相談して、診断結果を仰いで対応を検討する」としています。

いこいの里入浴施設の存続

社会福祉協議会が、現在、存続に向けての様々な事業を創意工夫しながら努力をしています。

存続を強く願う有志により昨年の7月に「がんばろう日本・がんばれいこいの湯実行委員会」が結成され、その委員会により今後の方向性、要望をまとめた「報告書」が提出されました。

今後も存続に向けて、事業内容の改善等、更なる努力がなされるよう注視します。

犬のふん害

ふん害対策として罰則規定を設ける考えについては、「現在、県の条例で罰則の規定はない。今しばらくは飼い主のマナーの向上が大事と考え、今後も地道な啓発活動に努めます」とのことです。

議会として、ふん害は環境美化、環境衛生面などから今後の検討課題として受け止めています。

総務産業常任委員会所管

コンビニ納税

岡垣町においても、地方税の収納、徴収対策として、コンビニ納税のメリット、デメリットを精査し検討するよう求めます。

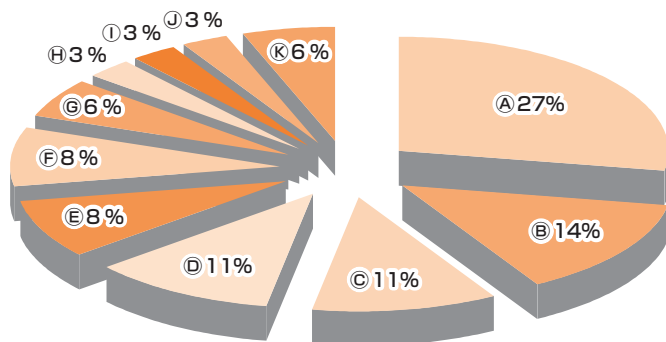
救急車両の有料化

救急サービスの有料化については、国の動向を把握し検討することになると思われるが、当面は住民に対して遠賀郡消防署が行っている「適正利用の啓発」の更なる普及と周知徹底に取り組むように申し出を行います。

波津海水浴場の駐車場

お尋ねの駐車場は「遠賀・宗像自転車道」の休憩所として福岡県が設置した施設です。管理については協定書に基づき、岡垣町が管理しています。岡垣町の管理責任のもと、海開きの期間（概ね7月10日から8月10日の間）については、波津海水浴場利用者の利便を図るとともに混雑、交通事故等を防止するため、波津海水浴場の駐車スペースとして活用しています。運営業務については、波津海水浴場組合が行い駐車整理料として500円を徴収しています。

議会住民懇談会の質疑・要望の概要



- ① 財源や予算など財政に関すること
- ② 歴史資料や文化財の保存に関すること
- ③ 開発の促進や発展性を求めること
- ④ 議会に関すること
- ⑤ 健康の維持並びに医療費に関すること
- ⑥ 公共・公益施設に関すること
- ⑦ 防災・救急に関すること
- ⑧ 自然環境の保全に関すること
- ⑨ 生活環境に関すること
- ⑩ 義務教育施設の充実に関すること
- ⑪ その他

初詣

平成24年が幸多き良い年になりますように



平成24年の幕開け



会議録を閲覧してみませんか



- ◆ 会議録検索システムは、議会議事録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆ 会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

平成24年
おとなへの旅立ち！
若者のパワーがみなぎる
エネルギーがまちなまちへ

祝成人

323名



どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

3月2日(金)
開会の予定

編集後記

横山 貴子

昨年は大震災、原発事故、豪雨による大災害と、心の重い一年でした。でもその現実を目の当たりにした多くの方々が、毎日の普通の暮らしがいかに幸福なことなのか、そして家族や人との「つながり」や「絆」そして「共助」が、いかに尊く大切なものであるかを改めて実感したのではと思います。

今年、暮らしの安心を支える社会保障制度改革、消費税増税問題など、暮らしへの不安を引きずった重たい新年の幕開けとなりましたが、大震災からの本格復興へのスタートの年でもあります。

この一年が未来に安心と希望を感じられる年であるように「がんばろう日本！」

発行責任者

議長 長 曾 宮 良 壽
議会広報特別委員会

委員長 西 廣 渡 輝 男
副委員長 西 美 千 代
委員 横 山 貴 子
委員 西 田 陽 子
委員 中 村 好 伸
委員 神 崎 宣 昭